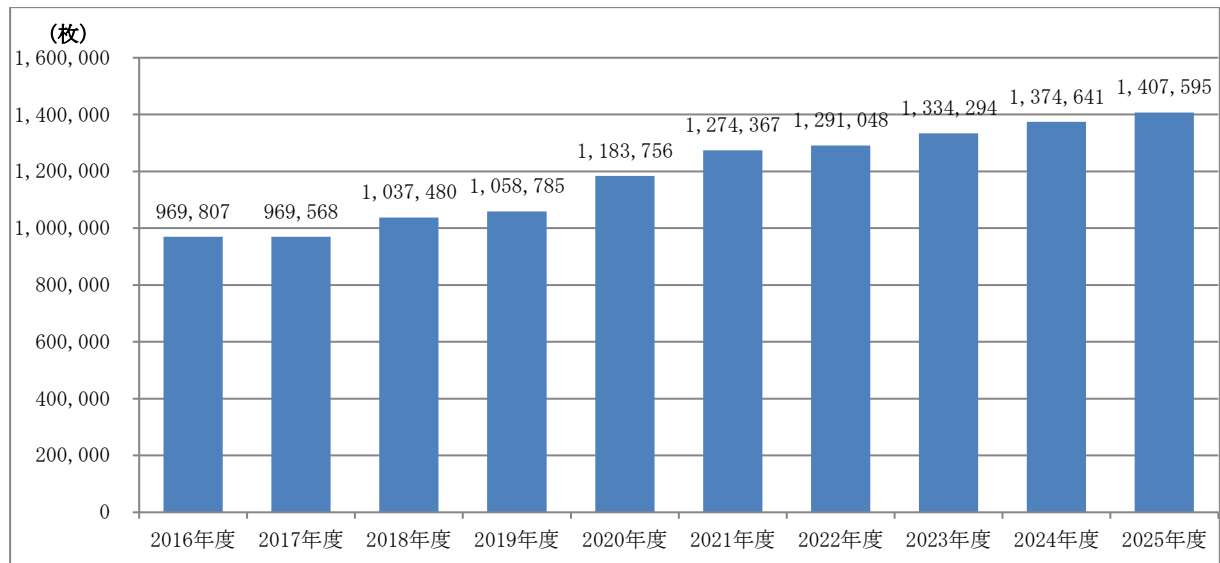


注射箋発行枚数の推移



2025年度の注射箋発行枚数は引き続き増加傾向を示している。背景として、入院患者数の増加に加え、がん薬物療法件数の増加や治療の高度化が影響していると考えられる。

注射薬調剤業務は、高リスク薬を含む多種多様な薬剤を取り扱うことから、業務量増加に伴い、安全性確保と効率的な供給体制の両立が重要となっている。

このような状況に対応するため、2019年度に注射薬調剤システムを刷新し、病棟への注射薬供給の円滑化、調剤過誤リスクの低減、業務標準化を推進している。これにより、増加する注射箋枚数へ対応しつつ、安全性を維持した持続可能な注射薬供給体制の構築を進めている。

データ提供 薬剤部